

42010. 11. 5

# うきは市の山の幸 駅弁に

うきは市浮羽町の田籠、新川西地区の住民グループ「うきはほっこり弁当の会(だいきり)」で調理する弁当が、JR九州の特急「ゆふDX」の駅弁に採用されることが決まった。来年1月までの期間限定だが、同市農林・観光課は「将来の本格採用を目指したい」と期待している。

限り、午前8時19分大分発博多行き「ゆふDX2号」と午後0時18分博多発大分行き「同3号」での販売が決まった。うきは駅で、JR側があらかじめ要望した数を「2号」に積み込む。

駅弁は「うきはほっこり弁当」の名で、千円。

両地区は耳納連山東端の山間部に位置し、同市が昨年から一帯で開催している「森林セラピーツアー」向けの弁当作りを担当。これに参加したJR社員が目にとまり、市を交え駅弁化を検討してきた。

## 特急「ゆふDX」で販売

シイタケ、柿など食材に

ている「森林セラピーツアー」向けの弁当作りを担当。これに参加したJR社員が目にとまり、市を交え駅弁化を検討してきた。

その結果、今月7日、来年1月9日の奇数日に

「うきはほっこり弁当」



弁当箱に竹の皮、食材に山の幸を使った

「うきはほっこり弁当」

## 住民グループ調理、期間限定